※令和４年度以降入学生用

学校番号	3032

令和８年度 芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

美術Ⅱの授業では、美術Ⅰで学んだことをふまえ、その内容をより深めていく課題と、新たな材料、用具を経験する課題に取り組みます。それぞれの課題に、主体的に取り組むことで、自分にしか出来ない表現方法や、課題への「答え」を探っていきましょう。

また「鑑賞」についても、その意義を理解して作品制作と同等に意欲的に取り組み、更に視野を広め知識を深めてより高い鑑賞力を身につけて欲しい。

2　学習の到達目標

a:《知識・技能》に関する目標…対象や事象を捉える造形的な視点を理解し、創造的で効果的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。

b:《思考・判断・表現》に関する目標…自然、自己、社会などを深く見つめ、感じ取ったことや、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的で効果的な表現の構想を練って、価値意識をもって美術や文化に対する見方や感じ方を深めている。

c:《主体的に学習に取り組む態度》に関する目標…美的体験を豊かにし、美術文化についての理解を深め、表現や鑑賞の創造活動に試行錯誤しながら主体的に取り組む態度を身につけている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点を理解し、創造的で効果的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	自然、自己、社会などを深く見つめ、感じ取ったことや、考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的で効果的な表現の構想を練って、価値意識をもって美術や文化に対する見方や感じ方を深めている。	美的体験を豊かにし、美術文化についての理解を深め、表現や鑑賞の創造活動に試行錯誤しながら主体的に取り組む態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	油絵制作『自我(自画)像』その(1)	【絵画・彫刻】 【鑑賞】 ・教科書等から古今東西の作家の自画像を選ばせ、作家が育った時代や環境を調べ、その画風にについて考察させる。 ・制作 ①デッサン；自分の顔写真を見て、鉛筆で忠実に描写する。 ②アイデアスケッチ；自分らしさを演出するポーズとモチーフや構図についての構想 ・自分の顔写真、自分に関連のある複数のモチーフを組み合わせた構成を考え、油彩画を制作する。 ③下絵；顔の描き方；資料を参考に、頭部のプロポーションや目鼻口などの形態を学ぶ。	b:作者の意図を感じ取り、自身の作品制作に反映させようとしている。 b:テーマにそって主体的に主題を生成し、表現方法を工夫している。 c:テーマにそって自己の内面と向き合いながら表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。 a:目鼻口等の位置、形状及び人体の骨格やプロポーション等を正しく理解して描写している。	・観察 ・アイデアスケッチ ・下絵 等	・観察 ・ワークシート 等 ・観察 ・アイデアスケッチ ・下絵 等	・振り返りシート 等 ・振り返りシート 等 ・振り返りシート 等

※令和４年度以降入学生用

夏休み課題	鑑賞『高校展』	【鑑賞】 高校展の鑑賞を通じて、府内の同年代の生徒達による、他分野にわたる美術・工芸作品の鑑賞を通じて、美術・工芸に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。	a: 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 b:同年代の生徒の作品鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。 c:鑑賞(レポート等)を通じて、作品の理解について、積極的な姿勢を示している。	・鑑賞レポート等	・鑑賞レポート等	・振り返りシート等
２学期	油絵制作『自我像』その⑵	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・制作 ④キャンバスに下描き ⑤描画 ⑥鑑賞と講評	a:Ⅰ年次での油彩画制作の経験をふまえ、材料や用具の特性をより生かせる方法や新たな表現を模索している。 b:他の生徒の作品を鑑賞し、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じ取り、作品への理解を深めている。 c:テーマにそって自己の内面と向き合いながら表現することに関心を持ち、主体的に取り組もうとしている。	・観察 ・作品等	・ ・観察 ・ワークシート等	・振り返りシート等 ・振り返りシート等

※令和４年度以降入学生用

３学期	立体オブジェ『喜・怒・哀・楽』その(1)	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ・ことばのイメージを立体造形で表現する。 ･素材(線材;アルミ棒、面材;プラスちっｋ板、塊材；バルサ材)の特性を活かした立体造形。 ・抽象表現だからこそ伝わること、感じ取れること。				
		［鑑賞］;図版で抽象彫刻を鑑賞し、形や素材などから作者の意図を感じとる。	b:作者の意図、創造的な表現の工夫を多様な視点から分析、理解し、その良さを味わっている。	・観察 ・ワークシート 等		･振り返りシート 等
		・制作 ［ワークシート］;ことば(喜･怒･哀･楽)を、それぞれ単純な線や形で表現する。	b:表現の可能性を試行錯誤しながら創造的で効果的な構想を練っている。		･観察 ･ワークシート 等	･振り返りシート 等
		［アイデアスケッチ］ 喜･怒･哀･楽の中から一つを選び、それをテーマにアイデアスケッチを進める。	c:立体制作や抽象的な表現に興味･関心を持ち、積極的に制作活動に取り組んでいる。	・観察 ・アイデアスケッチ 等		

※令和４年度以降入学生用

	オブジェ『喜・怒・哀・楽』その⑵	【絵画･彫刻】【鑑賞】 ・制作 ［本体制作］;アイデアスケッチを元に支柱部分(アルミ棒)と、プラスチック板やバルサ材を加工し、台座部分に取り付ける。 ［鑑賞と講評］	c:テーマに関心を持ち、表現の可能性を模索している。 b:テーマをよく考え、幅広く感性をはたらかせて主題を生成している。 a:素材の特性を活かし、道具の使い方を理解し、創造的で効果的に表現するための工夫をしている。 b:他の生徒の作品から、作者の意図、創造的な表現の工夫などを多様な視点から分析、理解し、そのよさを味わっている。	・観察 ・作品 等	・観察 ・ワークシート 等	・振り返りシート 等 ・振り返りシート 等
	『音楽会&造形二科展』鑑賞	【鑑賞】 校内で他分野を選択する生徒作品の鑑賞を通じて、芸術に対する幅広い視野と鑑賞力を高める。	a: 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 b:同年代の生徒の作品鑑賞を通じて、その良さや美しさ、作者の意図や表現の工夫を感じとり、作品への理解を深めるなど鑑賞力を高めている。 c:鑑賞(レポート等)を通じて、他者の作品の理解について、積極的な姿勢を示している。	・鑑賞レポート 等	・鑑賞レポート 等	・振り返りシート 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度